

2025年3月19日

各位

株式会社あう農園の農業分野におけるJクレジット活用をサポート

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、Green Carbon株式会社（東京都港区、代表取締役 大北 潤）と協業し、株式会社あう農園様（愛媛県北宇和郡鬼北町、代表取締役社長 有田 豊史様）の農業分野におけるJクレジット活用をサポートしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株式会社あう農園様は、Green Carbon株式会社が運営する「稲作コンソーシアム」に加盟し、「水稻栽培における中干しの延長」によるカーボンクレジットを創出することで、農作物以外の新たな収入を得ることが可能となります。

本件は、2024年12月に当行、Green Carbon株式会社、愛媛県、株式会社愛媛銀行、株式会社テミクス・グリーンの5者で締結した協定書に基づく第1号案件となります。

当行は、今後も、愛媛県の農業分野におけるJクレジット活用を促進するため、他の自治体等とも協業し、カーボンクレジット事業のビジネスモデルを確立するとともに、農業分野におけるクレジット創出やカーボン・オフセット手法の確立等に注力してまいります。

記

○ 企業概要

項目	内容
企業名	株式会社あう農園
所在地	愛媛県北宇和郡鬼北町大字東仲41番地
業種	米作農業
設立	2017年5月

○ Jクレジット「水稻栽培における中干しの延長」

Jクレジット制度は、温室効果ガスの排出削減量を「クレジット」として国が認証し、取引を可能とするものです。農業従事者等による排出削減量が見える化し、農業従事者等が、温室効果ガスの削減・吸収の取組みにより生じるクレジットで販売収入を得ることができるため、農業分野での活用が期待されています。

「水稻栽培における中干しの延長」はJクレジット制度の方法論の一つで、中干し期間を、水稻栽培で直近2か年以上の実施日数（平均日数）より7日間以上延長し、所定の審査を経て、削減量分のクレジットの認証を受けることができます。

以上

【本件に関するお問い合わせ】伊予銀行 法人コンサルティング部（担当:鈴木(草)） TEL (089) 907-1062